

★ ウジェーヌ・イザイ:<遠い昔に> 作品10-1 (2曲のマズルカより)

Eugène Ysaÿe (1858-1931) : Dans le Lointain Op.10 No.1 from Deux Mazurkas

★ セザール・フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調

César Franck (1822-1890) : Sonata for Violin and Piano A major

★ ガブリエル・フォーレ:<夢のあとに> 作品7-1 (三つのメロディより)

Gabriel Fauré (1845-1924) : Après un Rêve Op.7 No.1 from Trois Mélodies

★ セルゲイ・ラフマニノフ:ロマンス 作品6-1

Sergei V. Rachmaninov (1873-1943) : Romance Op.6 No.1

★ ニコロ・パガニーニ/クライスラー:鐘(ラ・カンパネラ)

Niccolò Paganini (1782-1840) : La Campanella, arranged by Fritz Kreisler

コレット・ヴァレンタイン
(Colette Valentine)

Piano

米国テキサス大学オースティン校バトラー音楽院コラボレーティブ・ピアノ科(室内楽アンサンブルやリサイタルなどにおける共演ピアニストを専門育成するための修士・博士課程として2008年に開設)主任/准教授。最も多忙なアンサンブル・ピアニスト、室内楽奏者として多彩な活動を展開している。透明で煌めくようなテクニック、高い芸術性、熟練したミュージシャンシップは高く評価されており、アメリカ国内外のアーティストや室内楽アンサンブルとの共演、レコーディングも数多い。カーネギー・ホール、ケネディ・センター(ワシントンD.C.)、パリ、チューリッヒ、東京、ソウル、香港など世界主要都市において演奏。また、大津純子らと共に立ち上げたピアノ・トリオ *<Ecco Trio>* (エッコ・トリオ)のメンバーとして活躍。トリオはワシントン・ポスト紙上「室内楽の親密さを醸し出す最高の演奏」と称賛されている。『ヴァイオリンの詩～ベル・エポック』『マラゲニヤ』『America』などのCDにて大津純子と共演。

月尾嘉男
(Yoshio Tsukio)

Guest Speaker

1942年愛知県生まれ。

1961年愛知県立旭丘高等学校卒業。

1965年東京大学工学部建築学科卒業。

1971年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。

1978年工学博士(東京大学)。1972-75年(株)都市システム研究所所長。

1976-88年名古屋大学工学部建築学科助教授。

1988-91年名古屋大学工学部建築学科教授。

1989-92年東京大学生産技術研究所第5部客員教授(併任)。

1991-99年東京大学工学部産業機械工学科教授。

1999-02年東京大学大学院新領域創成科学研究科メディア環境学分野教授。

2002-03年総務省総務審議官。

2003年より東京大学名誉教授。

専門はメディア政策。BS-TBS「地球千年紀行」では、6年間にわたり、

世界20カ所に暮らす先住民族の文化や伝統を紹介。地域振興と環境保護

のため、地域の人々と釧路湿原塾、羊蹄山麓塾、信州仰山塾、瀬戸内海塾など

を主宰。著書に『縮小文明の展望』(東京大学出版会2003)『100年先を読む』

(モラジャー研究所2011)『地球千年紀行』(清水弘文堂書房2012)『先住民族の叡智』(遊行社2013)『航海物語:書を捨てよ!海に出よう!』(遊行社2015)『日本が世界地図から消滅しないための戦略』(致知出版社2015)『転換日本:地域創生の展望』(東京大学出版会2017)ほか多数。

趣味はカヤック、クロスカントリースキー。

2004年2月南米大陸南端のケープホーンをカヤックで周回に成功。

大津 純子 (Junko Ohtsu)

Violin

東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業。同音楽院在学中にジュネス・ミュージカル・インターナショナル 及び、カーネギー・ホール共催リサイタルにてニューヨーク・デビュー。ニューヨーク・タイムズ紙上、“卓越した演奏” “将来を大きく期待される演奏家”と賞賛を受け、以後、本格的な米国内外での演奏活動を開始。

セントルイス交響楽団、シモン・ボリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との協演、リサイタル・プログラム『The Artistry of Junko Ohtsu』はパブリックTVネットワークにて全米40都市以上に放映、米国各地でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グランツ受賞。国際交流基金派遣にて ロシア、チェコ、オーストラリア、ベトナム、フィリピン、中南米諸国にて公演し絶賛を博す。

『アメリカ』(レコード芸術誌「室内楽準推薦盤」選出)、『ヴァイオリンの詩～ベル・エポック』、スペイン音楽選集『マラゲニヤ』(各・日本フォンテック)、『Prelude to a Kiss』(BAJ Records)などCD5枚をリリース。2011年にプロデュース・リリースした津軽・南部民謡集(編曲)DVD『あいの風～Wind from Northeast』(この収益全額は東日本大震災復興のために寄付)は、ヴァイオリン演奏による新鮮で意外なアプローチが称賛的となる。

2002～04年『Good Old Days～アメリカの素敵な時代』室内楽シリーズ、2004～2011年『Junko and the Night and the Music』シリーズ(イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤允彦両氏と共に)、2005年より東京・代官山ヒルサイドプラザにて年2回開催の『心のコンサート』シリーズ、2012年に開始した『純子の音楽ミニ・キャラバン』シリーズ(お子さん・学生さん対象に“音楽の楽しみ”を届ける出張演奏会)などの企画は、そのタイムリーな社会性と秀でた文化度が高く評価されている。

1999年より毎秋、国立情報学研究所主催『軽井沢土曜懇話会』(情報工学における権威、故・猪瀬博氏開設)に招待を受けレクチャー・コンサートを開催。現在、執筆・講演の分野にも活動の幅を広げている。



■コンサートお申込み書 (FAX送信先: 03-3486-8740)

お名前

ご連絡先

ご住所

名